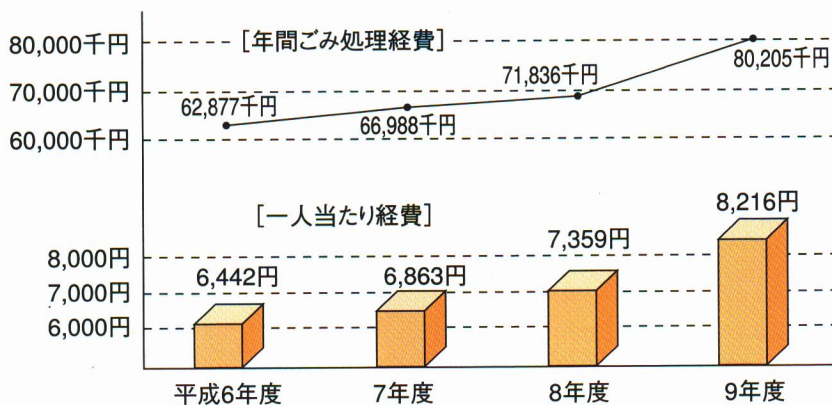


みんなの協力 このままごみがふえつづけると、ごみ処理にかかる費用が年々多くなり、町にとってたいへん負担になってきます。グラフは、平成6年度から平成9年度までのごみ処理にかかる費用を表したものです。平成6年度には約6千万円ですんだものが、平成9年度には8千万円以上かかっています。

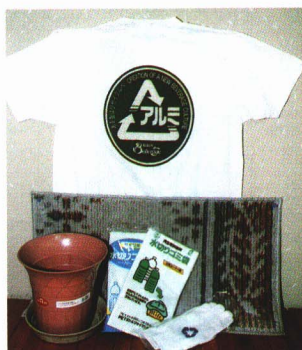
ゴミ処理にかかる経費は
1人当たり8千2百円

ゴミ処理経費と一人当たり経費の推移



鉄・アルミニウムなどは、資源物（空き缶・空きビン・ペットボトル）と同様に資源回収業者に引き取られ、リサイクル工場で製品として生まれ変わります。

ペットボトルによるリサイクル製品（ペットボトル一本半でTシャツ一枚を作ることができます）



《環境を守る》
古紙や廃木材をリサイクルするということは、森林資源を守ることに なります。

ゴミ減量化、資源化を目指して、福島県では、「ごみ減量化・再生推進計画」を立てて再生利用を推進しています。ごみの排出量は毎年1日当たり、1人約34グラムふえています。ごみ減量化目標を達成するために、みなさんも1人1日34グラム減らしましょう。